

Tobii Dynavox Windows Control ユーザーマニュアル

Virtual Remoteを含む 



ユーザーマニュアル Tobii Dynavox Windows Control

バージョン 1.0.1

05/2017

無断複写・転載を禁じます。

Copyright © Tobii AB (publ)

本文書のいずれの部分も、発行者の事前の書面による許可がない場合、形式、手段（電子、コピー、記録など）を問わず、複製、取得システムでの保存、または送信が禁止されています。

請求される著作権保護には、画面ディスプレイ、メニューなどの画面に表示されるソフトウェアプログラムから生成された素材を含む（ただしこれらに限定されない）、法律または地域法で許可されるか本書で付与された著作権保護可能な素材および情報のすべての形式および内容が含まれます。

本書に含まれる情報は、Tobii Dynavox の所有物です。Tobii Dynavoxによる書面による事前の許可なく、全体または一部を問わず複製することを禁じます。

本書内で参照される製品名は、それぞれの所有者の商標や登録商標である可能性があります。発行者および著者は、これらの商標に対する権利を主張するものではありません。

本書の準備に際しては万全を期しておりますが、発行者と著者は、誤り、省略、あるいは本書に含まれる情報の使用や、プログラムとそれに付随するソースコードの使用により生じた損害賠償の責任を負いません。発行者と著者は、いかなる場合においても、本書より直接的または間接的に発生する、あるいは発生したと主張される利益の損失またはその他の商業上の損失の損害賠償に対し、一切の責任を負いません。

内容は予告なしに変更されることがあります。

本書の最新バージョンについては、Tobii Dynavoxのウェブサイト、www.TobiiDynavox.com をご覧ください。

目次

1	Tobii Dynavox Windows Control について	5
1.1	使用目的	5
1.2	システム要件	5
2	インストール、起動、およびライセンスの処理	6
2.1	Tobii Dynavox Windows Control のインストール	6
2.2	ライセンスの処理	6
2.2.1	ライセンスのアクティブ化	6
2.2.2	ライセンスの無効化	7
2.3	初回起動時	7
3	Tobii Dynavox Windows Control の使用	9
3.1	Windows Control コントローラ	9
3.2	トラックステータス	10
3.3	Windows Control タスクバー	11
3.4	タスク	12
3.5	追加タスク	13
3.6	ショートカット	14
3.7	選択方法 — 注視またはスイッチ	16
3.7.1	スティッキータスクおよびスイッチの既定左クリック/タップ	16
3.7.2	スイッチではなくキーボードのボタンでタスクを有効にする	17
3.8	キーボードの注視	17
3.8.1	キーボードタスクバー	18
3.8.2	キーボードタスクバーのタスクボタン	19
3.8.3	単語予測	19
3.9	範囲ベースのキーボードとWindows Controlの組み合わせ	20
3.10	Eye Detection Indicator	20
4	Windows Control の設定	22
4.1	アイトラッカー	23
4.1.1	[キャリブレーション] タブ	23
4.1.1.1	新しいプロファイルの作成	23
4.1.1.2	プロファイルの管理	24
4.1.1.3	キャリブレーションのテスト	24
4.1.1.4	再キャリブレーション	24
4.1.1.5	キャリブレーションタイプ	25
4.1.2	[高度な設定] タブ	26
4.1.2.1	ディスプレイのセットアップ	26
4.2	一般設定	27
4.2.1	[一般] タブ	27
4.2.2	[About (バージョン情報)] タブ	27
4.2.2.1	ライセンスキー	27
4.3	アクティブ化&フィードバック	28
4.3.1	[アクティブ化] タブ	28
4.3.2	[フィードバック] タブ	28
4.4	タスクバー&キーボード	29
4.4.1	[ズーム] タブ	29
4.4.2	[タスク] タブ	30
4.4.2.1	追加タスクの表示	30

	4.4.2.2	左クリックの最大化	30
	4.4.3	[タスクバー]タブ	31
	4.4.4	[キーボード]タブ	32
4.5		ヘルプと使用方法	33
	4.5.1	[ヘルプ]タブ	33
	4.5.2	[使用] タブ	34
5		Virtual Remote.....	35
5.1		Virtual Remote 概要.....	35
	5.1.1	Virtual Remote メニュー	35
	5.1.2	有効なリモコン	36
	5.1.3	ボタン	36
5.2		Tobii Dynavox Virtual Remote の使用	37
	5.2.1	初回起動時	38
	5.2.2	有効なリモコンを 変更 する	38
	5.2.3	リモコン上のボタンを使う	38
	5.2.4	リモコンを追加	38
	5.2.4.1	事前にプログラムしたリモコンを追加	39
	5.2.4.2	事前にプログラムされていないリモコンを追加	43
	5.2.5	編集モード	45
	5.2.5.1	リモコン名の 変更	46
	5.2.5.2	リモコンの削除.....	47
	5.2.5.3	既存の有効なボタンの 変更	48
	5.2.5.4	既存のプログラムされていないボタンを 変更	51
	5.2.5.5	空のスペースに新しいボタンを追加.....	53
	5.2.6	情報	54

1 Tobii Dynavox Windows Control について

1.1 使用目的

目だけで、または目とスイッチでコンピュータを完全にコントロールします。賞を受賞したこのソフトウェアを使用すれば、マウスのあらゆるタイプのアクションをエミュレートし、アクションをスワイプし、テキストを入力できます。また、スマートなショートカットが追加されたことにより、Windowsのすべての部分により簡単にアクセスできるようになりました。

1.2 システム要件

コンポーネント	必要条件
コンピュータとプロセッサ	2.0ギガヘルツ (GHz) 以上のデュアルコアプロセッサ (推奨される最低要件)。
メモリ (RAM)	4ギガバイト (GB) の RAM (推奨される最低要件)。
ハードディスク	450メガバイト (MB) が利用可能。
USB	USB 2.0
オペレーティングシステム	Windows Controlは32ビットおよび64ビットバージョンのMicrosoft Windowsオペレーティングシステムで動作します。64ビットバージョンのWindowsオペレーティングシステムで Windows Control 32ビットを実行すると、Windowsオペレーティングシステムの32ビットレイヤーでプログラムが実行されます。 • Windows 7 (64ビット) • Windows 8.1 (32ビットまたは64ビット) • Windows 10 (32ビットまたは64ビット)
.NETバージョン	4.5
アイトラッカー	Tobii Eye Trackingコアソフトウェアをサポートする、Tobii DynavoxまたはTobii Techのアイトラッカー
その他の要件と考慮事項	ライセンスアクティベーションのため、インターネット接続が必要。
Tobii Eye Trackingコアソフトウェア	バージョン2.8以降。
赤外線リモコン	HBR赤外線チップが装備されているデバイス : Tobii Dynavox EyeR、Indi、I-Series I-110、またはEyeMobile Plus。

2 インストール、起動、およびライセンスの処理

2.1 Tobii Dynavox Windows Controlのインストール



インストールする場合は、Windows Controlをインストールする前にTobii Gaze Interaction Softwareをアンインストールする必要があります。

Windows Controlはwww.TobiiDynavox.comからダウンロードすることもできます。

インストールウィザードは以下のアプリケーションをインストールします。

- Tobii Dynavox Windows Control
- Tobii Dynavox Virtual Remote

Windows Control をインストールするには、画面の指示に従います。

2.2 ライセンスの処理

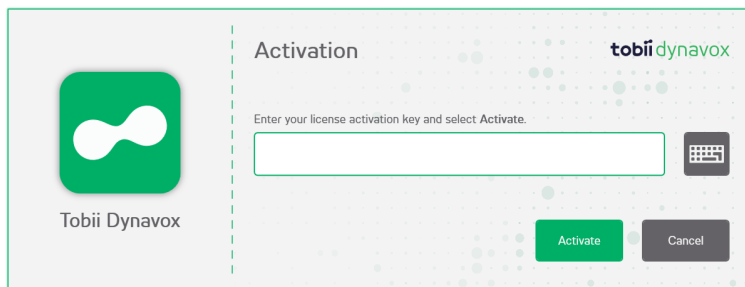
2.2.1 ライセンスのアクティブ化



Windows Controlは、同じライセンスを使用して最大3台のコンピュータ/デバイスで同時に実行できます。3台以上のコンピュータ/デバイス上でWindows Controlを使用できるようにするには、まず他のコンピュータ/デバイスのいずれか1台でWindows Controlを無効にする必要があります。

Windows Controlを購入すると、注文確認メールが届き、その中にソフトウェアのLicence Activation Keyが記載されています。

Windows Controlが初めて実行されるときに、**License Manager**が起動します。

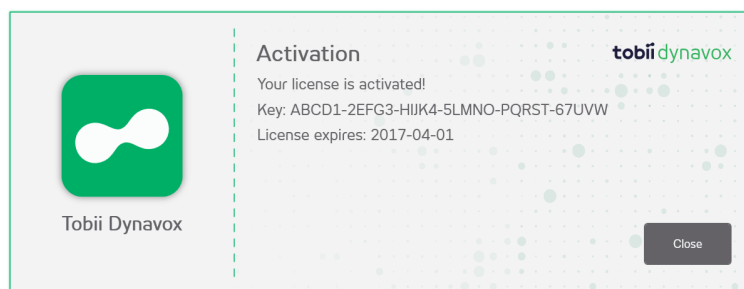


[ライセンス]ダイアログボックスには、処理対象のライセンスの実際のソフトウェアアイコンが表示されます。

License Activation Keyは、注文確認メールにも記載されています。

1. コンピュータ/デバイスがインターネットに接続されていることを確認します。
2. **License activation key**を入力します。

3. アクティベートボタンを選択します。



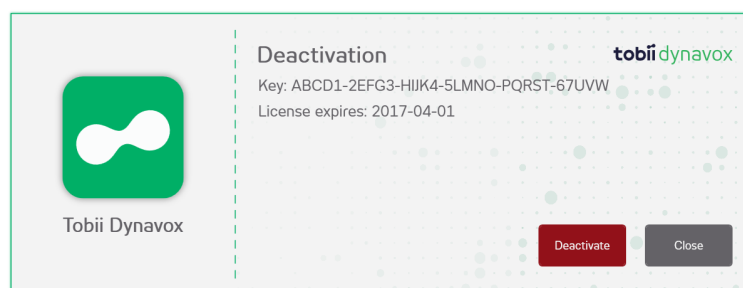
i [ライセンス]ダイアログボックスには、処理対象のライセンスの実際のソフトウェアアイコンが表示されます。

4. [閉じる]ボタンを選択します。

2.2.2 ライセンスの無効化

Windows Controlを無効にするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータ/デバイスがインターネットに接続されていることを確認します。
2. Windows Controlを開始します。
3.  (設定) ボタンを選択します。
4.  (一般設定) ボタンを選択します。
5. [About (バージョン情報)] タブを選択します。
6. [ライセンスキー]ボタンを選択します。
7. 使用停止ボタンを選択します。



i [ライセンス]ダイアログボックスには、処理対象のライセンスの実際のソフトウェアアイコンが表示されます。

8. 以下を選択します。
 - はい — このデバイスのライセンスを無効にします。
 - いいえ — キャンセルします。

2.3 初回起動時

Windows Controlの初回起動時、Windows Control設定を開始する手順を設定ガイドがユーザーに説明します。このガイドの手順は次のとおりです。

- ディスプレイのセットアップ。詳細情報については、4.1.2.1 ディスプレイのセットアップ、ページ 26 を参照してください。
- 新しいプロファイルの作成。詳細情報については、4.1.1.1 新しいプロファイルの作成 を参照してください。

- キャリブレーションのテスト。詳細情報については、4.1.1.3 キャリブレーションのテストを参照してください。

3 Tobii Dynavox Windows Control の使用

Tobii Dynavox Windows Controlを使うと、ユーザーは不要なクリックをすることなく、2ステップの選択方法で、標準 Windows デスクトップオペレーティングシステムを制御することができます。また、視線でマウスカーソルを追うことを防ぎます (Windows Control では、マウスカーソルがふらふらと動くことはありません)。

1. まず、ドックされたタスクバーを見て、そこから希望のタスクを選択します。
2. 次に、タスクを実行したいと思う画面の部分 (または画面上のアイコン) を見ます。自動ズーム機能が有効化され、アイコンの選択またはタスクの実行で終了します。

 Windows Control のすべての機能に対してタッチとマウスが有効になっているため、ユーザーは、必要に応じて簡単に介護者や介助者の方の手を借りることができます。介護者や介助者の方は、より簡単に機能/タスクを選択したり、ユーザー用の設定を変更することができます。

3.1 Windows Control コントローラ

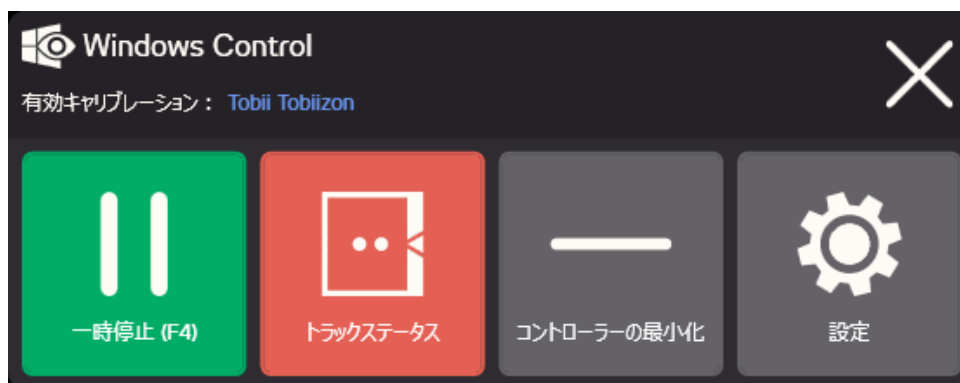
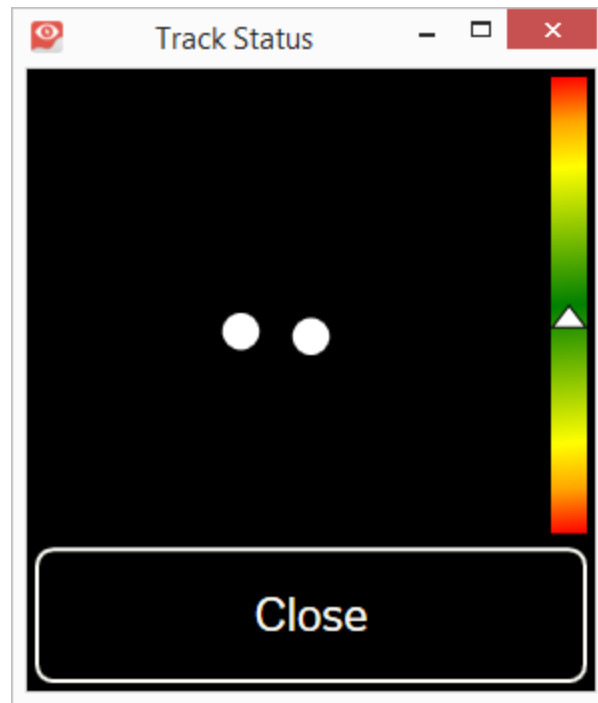


図 3.1 Windows Control コントローラ

ボタン	アクション	説明
	一時停止 (F4)	Windows Controlを一時停止するアクション。  一時停止機能をアクティブ化すると、ボタンが切り替わり、開始ボタンが表示されます。  キーボードのF4キーを使用して、タスクをアクティブ化することもできます。
	開始 (F4)	Windows Controlを開始するアクション。  開始機能をアクティブ化すると、ボタンが切り替わり、一時停止ボタンが表示されます。  キーボードのF4キーを使用して、タスクをアクティブ化することもできます。
	トラックステータス	トラックステータスウィンドウを表示するアクション。これを使用して、ユーザーが画面の正面に正しく位置しているかどうかを確認します。 詳細情報については、3.2 トラックステータス、ページ 10 を参照してください。
	コントローラーの最小化	コントローラウィンドウを最小化するアクション。

ボタン	アクション	説明
	設定	Windows Control設定を開くアクション。 詳細情報については、4 Windows Controlの設定、ページ 22 を参照してください。
	閉じる	Windows Controlを終了するアクション。

3.2 トラックステータス



トラックステータス機能を使用して、ユーザーがイトラッカーの正面に正しく位置しているかどうかを確認します。

- 2つの白い点 - ユーザーの目、および画面上でのそれらの位置。最適な位置を保つために、白い点は黒い領域の中央に位置する必要があります。
- 白い矢印が付いた左側にあるカラーフルバー - ユーザーが画面からどのくらい離れた位置にいるかを示します。
 - 白い矢印がバーの緑色の領域の中央にある場合、ユーザーは画面から最適な距離に位置しています。
 - 矢印がバーの下部にある場合は、ユーザーをもっと画面の近くに移動させます。
 - 矢印がバーの上部にある場合は、ユーザーをもっと画面から離れた位置に移動させます。

1. Windows Controlコントローラを開きます。



2. (トラックステータス) ボタンを選択します。

3. ユーザーを配置します。

4. 終了したら、[閉じる]ボタンを選択します。



このボタンは視線領域に基づいているため、ボタンを注視してアクティブ化します。

3.3 Windows Controlタスクバー

Windows Controlタスクバー上部に、トラックステータスビューアがあります。これは、アイトラッカーがユーザーの目を認識できており、ユーザーがデバイスの前の正しい位置にいることを確認できるようにするものです。

Windows Controlタスクバーのタスクボタンは、図 3.2 Windows Controlタスクバーのモード、ページ 11 に示されるとおり、3つの異なるモードが可能です。

- 標準（未選択） - Windows Controlのためのタスクボタンが選択されていません。
- 一次選択（白） - マークが付いたタスクボタンが選択され、ユーザーが画面上の希望の場所もしくはアイコンを見つめ自動的にズームされた後、タスクが実行されます。選択方法がWindows Control設定ダイアログ内のスイッチに設定されている場合、選択されたタスクボタンはタスクの実行後も有効のままになります。



ショートカットタスクはズームを実行しません。

- 二次選択（青/白） - 一次選択と同じですが、より高精度です。一次選択とは、タスクが最終的に実行される前にズームがさらに拡大され、希望する画面の部分がより大きくなり、その中がより選択しやすくなることです。下のイメージのように、色が変化するまでタスクボタンの上に視線を置くと、このモードがオンになります。



ショートカットタスクはズームを実行しません。

- 三次選択（ポップアウトメニュー） - タスクバーの一部のタスクについては、追加タスクで利用可能なポップアウトメニューがあります。下のイメージのように、ポップアウトメニューがアクティブになるまでタスクボタンの上に視線を置くと、このモードがオンになります。



Windows 8.1 および Windows 10 では、タスクバーの色は Windows の設定に適應します。



図 3.2 Windows Controlタスクバーのモード

3.4 タスク

タスク	アクション	説明
	カーソルの配置	凝視するカーソルを配置できるタスク。 実行時にズームアクションを実行します。
	視線のドラッグ/ドロップ	2つの「クリック」を行うタスクです。最初のクリックは、ドラッグのスタート位置を表し、2つ目のクリックはドロップ位置を表します（オブジェクトの移動または範囲の選択）。 - タスクを選択します。 - 移動させたいオブジェクト、または選択範囲の開始ポイントを見ます。 - 注視またはスイッチでWindows Control（最初の「クリック」）を実行します。 - ただちに、オブジェクトのドロップ位置、または選択範囲の終了ポイントを見ます。 - 注視またはスイッチで2回目の「クリック」を実行します。 実行時にズームアクションを実行します。
	視線のスクロール	スクロール可能なウィンドウで行った場合、視線でコントロールしてページをスクロールすることができるタスクです。 - タスクを選択します。 - スクロールできる部分を見て、視線を止めます。すると視線のスクロールアイコンが視線が置かれた場所に現れます。 - 上にスクロールする場合は、アイコンの上を見ます。 - 下にスクロールする場合は、アイコンの下を見ます。 - 左にスクロールする場合は、アイコンの左を見ます。 - 右にスクロールする場合は、アイコンの右を見ます。 - スクロール中に上下または左右の方向を切り替えるには、もう一度アイコン（タスクバーのアイコンではなく画面上のアイコン）に視線を戻します。 - スクロールを止めるには、Windows Controlタスクバー（または画面の外）に視線を戻します。  モダンUIアプリやモダンUI Windows スタート画面で縦や横にスクロールするには、視線のスクロールタスクを使用します。
	左クリック/タップ	左シングルクリックを実行するか、タッチ型デバイスで1回タップするのに対応するタスク。スイッチモードの状態では、左クリック/タップは、既定ではオンでスティッキー状態です（3.7.1 スティッキータスクおよびスイッチの既定左クリック/タップ、ページ 16を参照）。 実行時にズームアクションを実行します。
	ショートカット	以下を開くタスク： 3列の定義済みのショートカット。 - Windows 7、8.1、10で利用できる若干異なるショートカット。 詳細情報については、3.6 ショートカット、ページ 14 を参照してください。
	右クリック	右シングルクリックを行うタスクです。 実行時にズームアクションを実行します。

タスク	アクション	説明
	ダブルクリック	左ダブルクリックを行うタスクです。アクティブ化方法がスイッチに設定されている場合、ダブルクリックは「スティッキータスク」となります (3.7.1 スティッキータスクおよびスイッチの既定左クリック/タップ、ページ 16 を参照) 実行時にズームアクションを実行します。
	キーボードの注視	Gaze typing 用のキーボードを有効にするための画面上の Gaze を開くタスク。
	設定	Windows Control設定を開くタスク。 詳細情報については、4 Windows Controlの設定、ページ 22 を参照してください。

3.5 追加タスク

タスク	アクション	説明
	スティッキードウエルクリック	このタスクは、Windows Controlの各種クリックインタラクションタスクを実行します。スティッキードウエルクリックタスクを選択すると、マウスカーソルが視線を追い始め、マウスの動きをエミュレートします。視線をデスクトップまたはアプリケーションのどこかに固定すると、ワンクリックで終了するドウエルタイマーがアクティブになります。二次選択でそれをアクティブ化することにより、クリックの前にズームがアクティブになるように設定されます。これはより小さなターゲット向けです。  つまり、タスクが「スティッキー」になると、選択したタスクを繰り返し実行するためにタスクバーに視線を戻す必要がありません。タスクを変更したい場合のみ、視線を戻します。

3.6 ショートカット

Windows 8.1	Windows 10



ショートカット機能がアイコンでマークされている場合、ショートカットウィンドウは機能のアクティブ化後も開いたままの状態になり、いくつかのアクティブ化が可能になります。

ショートカット	アクション	Win 8.1	Win 10	説明
	ウィンドウの最大化	x	x	アクティブなウィンドウ/アプリ/ソフトウェアを最大化するショートカット。
	戻る	x	x	Webブラウザまたは同じ機能を内蔵している他のソフトウェアでユーザーがページを戻すショートカット。
	元に戻す	x	x	最後のコマンドを元に戻すショートカット。
	コピー	x	x	アクティブな選択をコピーするショートカット。
	貼り付け	x	x	以前にコピーされた選択を貼り付けるショートカット。
	開始	x	x	Windowsスタートメニューを起動するショートカット。

ショートカット	アクション	Win 8.1	Win 10	説明
	タスクバーの非表示	x	x	全画面表示のためにタスクバーを非表示にするショートカット。タスクバーの表示を戻すには、  か  を選択します。
	ウィンドウの最小化	x	x	アクティブなウィンドウ/アプリ/ソフトウェアを最小化するショートカット。
	ブラウザ	x	x	デフォルトのWebブラウザを起動するショートカット。
	音量を上げる	x	x	音量を上げるショートカット。
	ミュート	x	x	スピーカーをミュートするショートカット。
	音量を下げる	x	x	音量を下げるショートカット。
 	検索 Cortana	x	x	Windowsの検索機能を開くショートカット。 Cortanaを開くショートカット。Cortanaはより優れた個人支援機能です。CortanaはWebの検索、PC上のアイテムの検索、予定表の追跡などができます。
	サイドの切り替え	x	x	タスクバーを右/左から起動するショートカット。
	ウィンドウを閉じる	x	x	アクティブなウィンドウ/アプリ/ソフトウェアを閉じるショートカット。
	音声認識	x	x	Windows音声認識 (または、インストールされている場合はドラゴン音声認識) を開始するショートカット。
	Virtual Remote	x	x	Virtual Remoteアプリケーションを開くショートカット。詳細情報については、5 Virtual Remote、ページ 35 を参照してください。
	デスクトップ	x	x	デスクトップを起動するショートカット。
 	チャーム アクションセンター	x	x	チャームメニューを開くショートカット。 アクションセンターを開くショートカット。
	アプリ切替	x		実行中のすべてのモダンUIアプリとデスクトップの間で切り替えるショートカット。  デスクトップ上で稼働中のすべてのソフトウェアが、ここでは非表示になります。これらはデスクトップからでしか表示されません。

ショートカット	アクション	Win 8.1	Win 10	説明
	タスクビュー		x	実行中のモダンユーザーインターフェイス (UI) のアプリすべてが表示されるタスクビューを開くショートカット。  タスクビューは、開かれているアプリが1つ未満しかない場合は表示されません。
	ショートカットを閉じる	x	x	ショートカットメニューを閉じるショートカット。

3.7 選択方法 — 注視またはスイッチ

選択したタスクを実行するには2つの方法があります。

- 注視 - 視線を使用して、選択したタスクの制御と実行の両方を行います。
- スイッチ - 視線を使用して制御を行い、デバイスに接続された機械的なボタンを使用して選択したタスクを実行します。

選択方法は、Windows Control設定ダイアログ内から設定します。4 Windows Controlの設定、ページ 22 を参照してください。

選択を実行する前に、タスクバーから実行するタスクを選択します。「一次」または「二次選択」とハイライトされるまで、選択したタスクを見つめます。

- 注視 - 選択したタスクを実行するには、タスクを実行したいと思う画面の部分 (または画面上のアイコン) を見つめます。自動ズーム機能が有効化され、アイコンの選択またはタスクの実行で終了します。
- スイッチ - 2つの異なる実行モードがあります。
 - － スイッチのシングルアクティベーション - ズーム機能は Gaze 方法と同じ方法で、Windows Control設定ダイアログ内の設定に従い実行されます。4 Windows Controlの設定、ページ 22 を参照してください。
 - － スイッチの有効化とホールド - ズーム機能はズームをし続け、スイッチを離したり無効にしたときのみズーム機能が終了します。



注視方法を使用する場合、ユーザーは個々のタスクの実行前にタスクバーに視線を戻し、新しいタスクを選択する必要があります。



Windows Control設定で精度が0に設定されている場合は、ズームは実行されません。詳細情報については、4 Windows Controlの設定、ページ 22 を参照してください。

3.7.1 スティッキータスクおよびスイッチの既定左クリック/タップ

スイッチ方法を使用する場合、「スティッキータスク」とよばれる機能を活用することになります。

つまり、タスクが「スティッキー」になると、選択したタスクを繰り返し実行するためにタスクバーに視線を戻す必要がありません。タスクを変更したい場合のみ、視線を戻します。

スイッチ方法を使用する場合、タスクの左クリック/タップが既定により「スティッキー」になります。つまり、左クリック/タップが常にオンになり、他に何も選択されていない限りは、スイッチを有効にすることで常にオンの状態であることを意味します。別のタスクが選択されている場合は、1回 (1回の選択) のみそれが有効になり、その後なされる選択に対しては、Windows Controlが設定を自動的に既定の左クリック/タップに戻します。

その例外となるのは、タスクのダブルクリックです。スイッチモードの使用中にこれが選択されている場合、これも同様にスティッキーになります。したがって、別のタスクが選択されるまでは、選択された状態が続きます (その後は既定の左クリック/タップに戻ります) 。

スイッチとタスクの左クリック/タップを1回選択して有効にし、再度タスクの左クリック/タップを選択する必要なく何度でも希望のものを何でも選択できるようにすることで、インターネットの簡易/継続的なサーフィンなど、優れた利用が可能になります。

3.7.2 スイッチではなくキーボードのボタンでタスクを有効にする

「キーボードボタンの F12」を取り付けられたキーボードで選択すると、タスクの選択が有効になります。これは接続されたスイッチと全く同様の方法で使用できます。スイッチについてのより詳しい情報は、3.7 選択方法 — 注視またはスイッチ、ページ 16 をご覧ください。

3.8 キーボードの注視

タスクバーの Gaze Keyboard ボタンを選択すると、画面上のキーボードとして Gaze Keyboard が起動します。Gaze Keyboard は、ユーザーの設定に基づき、画面の上または下に配置されます。

キーボードタスクの一次または二次選択を使用して、2つの方法で画面上にキーボードを配置できます。

- 一次選択：

1. キーボードタスクの一次選択をアクティブ化する
2. 書き込む場所を選択すると、キーボードが反対側で起動します。
画面の下部に書き込む場合は、上部に配置されます。逆も同様です。



停留を使用すると、ただちに停留する場所の繁体側にキーボードが配置されます。ユーザーがスイッチを使用している場合は、最初に入力する場所に視線を置いてから、スイッチを押して、反対側にキーボードを配置する必要があります。

- 二次選択：

- キーボードは自動的に画面に下部に配置されます。

Gaze Keyboard とともに使用すると、キーボードタスクバーが起動します。詳細情報については、3.8.1 キーボードタスクバー、ページ 18 を参照してください。

Gaze Keyboard は、回転ループ内で 4 つのキーボードページで構成されています。Gaze Keyboard の全ページで、左右の端にある次ページボタンを選択すると、ユーザーは別のキーボードページに簡単に切り替えることができます。

ユーザーが見ているキーボード上のキーは、キーの文字/機能のそばにあるライトフレームが示しています。

以下の 4 つのキーボードページがあります：



図 3.3 デフォルトスタートアップページ



図 3.4 右側の最初のページ

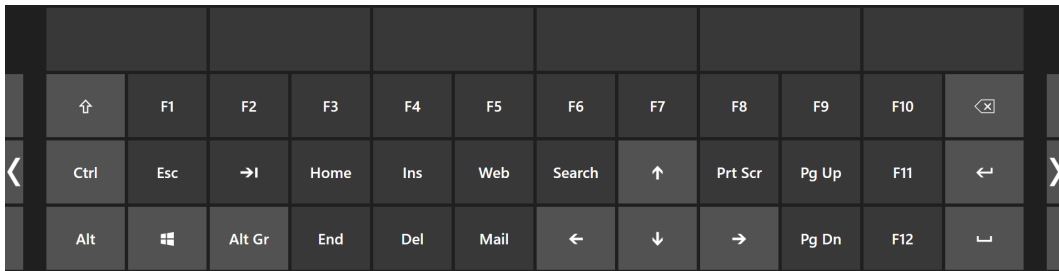


図 3.5 右側または左側の2ページ目



図 3.6 左側の最初のページ

キーボードの言語やキーボードのその他の設定を変更するには、4 *Windows Control* の設定、ページ 22 を参照してください。

i Shift、Ctrl、Alt、Win、Alt Gr キーは、一度選択すると「スティッキー」になり、選択が継続されます。これは、ユーザーがキーボードから新しいキーを選択するまで、そのキーが継続して選択されることとなります。次に選択したキーが別の継続選択キーであった場合、キーの選択は継続されます。

i 文字にアクセントを付けて表記するには：

1. アクセントを選択します。
2. 文字を選択します。
3. 選択されたアクセントで文字が表示されます。

i キーボードの数字キーは、数字パッドと同じように配置され、Alt キーと組み合わせて使用すると、ASCII 文字を入力することができます。

1. Alt キーを選択
2. ASCII 文字用の数字の組み合わせを選択
3. Alt キーを選択
4. ASCII 文字が表示されます。

3.8.1 キーボードタスクバー

キーボードタスクバーの上には、Windows Control タスクバーと同じように、トラックステータスビューアがあります。これは、アイトラッカーがユーザーの目を認識できており、ユーザーがデバイスの前の正しい位置にいることを確認できるようにするものです。

キーボードタスクバーのタスクボタンは、図 3.7 キーボードタスクバーのモード、ページ 19 に示されるとおり、3つの異なるモードが可能です。

- 標準（未選択） - Windows Control のためのタスクボタンが選択されていません。
- 一次選択（白） - マークが付いたタスクボタンが選択され、ユーザーが画面上の希望の場所もしくはアイコンを見つめ自動的にズームされた後、タスクが実行されます。選択方法が Windows Control 設定ダイアログ内のスイッチに設定されている場合、選択されたタスクボタンはタスクの実行後も有効のままになります。

- 二次選択 (青/白) - 一次選択と同じですが、より高精度です。一次選択とは、タスクが最終的に実行される前にズームがさらに拡大され、希望する画面の部分がより大きくなり、その中がより選択しやすくなることです。下のイメージのように、色が変化するまでタスクボタンの上に視線を置くと、このモードがオンになります。

 左クリック機能でのみ使用できます。

 Windows 8.1 および Windows 10 では、キーボードタスクバーの色は Windows の設定に適応します。

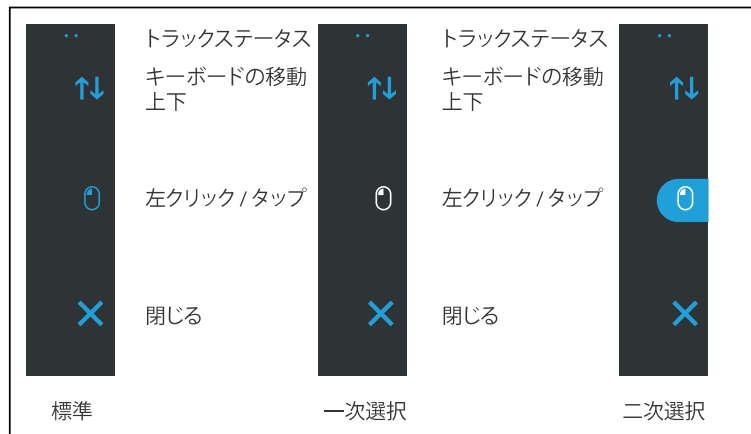


図 3.7 キーボードタスクバーのモード

3.8.2 キーボードタスクバーのタスクボタン

タスク	アクション	説明
	キーボードの移動 上下	画面の上または下にキーボードを移動するタスク。  機能をアクティブ化するには、二次選択をトリガーする必要があります。
	左クリック/タップ	左シングルクリックを実行するか、タッチ型デバイスで1回タップするのに対応するタスク。
	閉じる	キーボードを閉じるタスク。

3.8.3 単語予測

Windows Controlで使用される単語予測エンジンはSwiftkeyのもので、一般的にタブレットとスマートフォンで使用されます。Swiftkeyは、ユーザーが次に入力しようとする単語を予測できる複数の人工知能技術を組み合わせたものです。

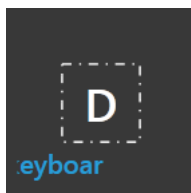
Swiftkeyは、ユーザーが書き込んだ前のテキストから学習し、現在入力されたテキストと学習内容に基づいて、予測結果を出力します。単語予測言語は、キーボード言語設定によって異なります。

	he		her		hey		here		help		health	
	⌫	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	⌫
<	Ctrl	A	S	D	F	G	H	J	K	L	!	↩
	⇧	Z	X	C	V	B	N	M	,	.	?	⌵

図 3.8 単語予測がアクティブなキーボード

単語予測が使用されているときには、6個のボックスがキーボードの上に表示されます。単語予測のアクティブ化と非アクティブ化の詳細については、4 Windows Controlの設定、ページ 22を参照してください。一番左側のボックスには、最も確率が高い予測単語が表示されます。残りの5個のボックスには、それぞれ予測された単語が1個表示されます。予測された単語を選択するには、正しい単語が入ったボックスを選択します。探している単語がない場合は、入力を続け、次の文字の後に探している単語が見つかるまで繰り返します。

 単語予測を使用し、caféのようなアクセントを含む単語を入力する場合は、単語予測にアクセントを処理させることをお勧めします。「cafe」と入力すると、「café」の候補が表示されます。



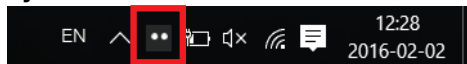
ユーザーがタイピングすると、最新の5～10文字が、ブルーで強調表示されます。詳細情報については、4 Windows Controlの設定、ページ 22を参照してください。この機能により、ユーザーはスペルミス簡単に発見し、実際に入力する場所で文字を確認する必要がなくなるため、タイピングスピードが向上します。

3.9 範囲ベースのキーボードとWindows Controlの組み合わせ

Windows Controlは他の視線制御アプリケーションと組み合わせで使用することができます。他のアプリケーションの「Gaze有効化」範囲は、Windows Controlツールバーに有効のタスクがない限り、有効になります。スイッチでWindows Controlを使用している場合、タスクボタンは「スティッキー」になります。タスクの選択を解除する必要がある場合は、選択したタスクを短時間見直してください。

3.10 Eye Detection Indicator

 Eye Detection Indicatorは、Windowsの[アクティビティ]フィールドの別のインジケータです。

 これは、Windows Controlがユーザーの視線を検出したかどうかを示します。

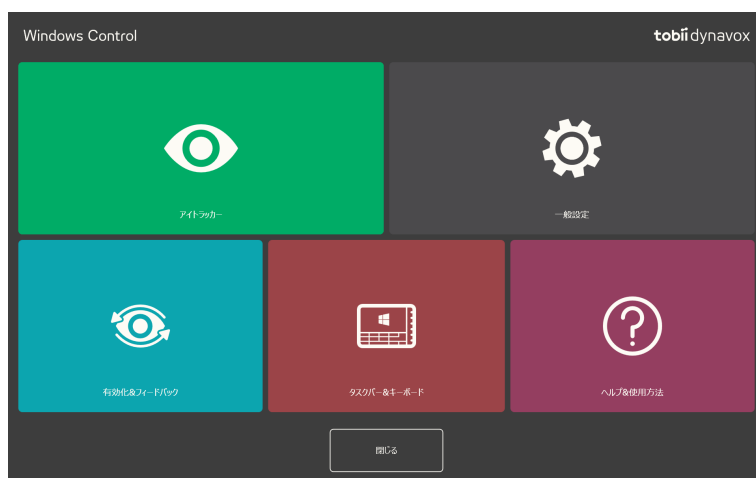
Eye Detection Indicatorには各種ステータスがあります。

- 視線が検出された ()。

 ユーザーの位置ガイドとしても機能します。

- 視線が検出されない ()。
- アイトラッカーが接続されていないか、アイトラッカーが無効になっている ()。

4 Windows Controlの設定

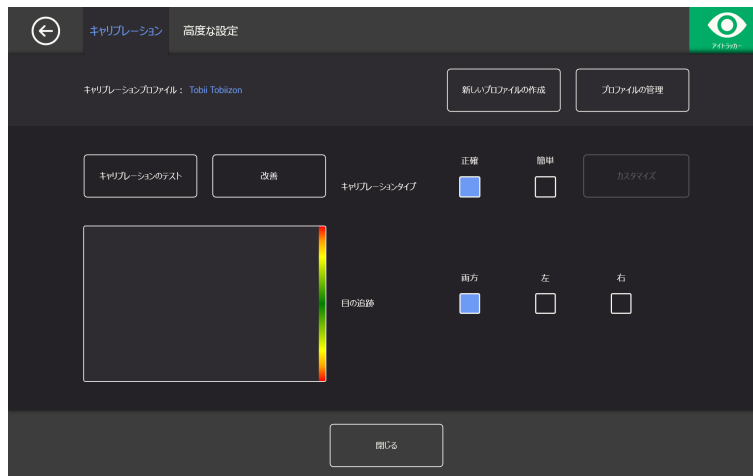


アイコン	アクション	説明
	アイトラッカー	アイトラッカー設定を開きます。 詳細情報については、4.1 アイトラッカー、ページ 23 を参照してください。
	一般設定	一般設定を開きます。 詳細情報については、4.2 一般設定、ページ 27 を参照してください。
	アクティブ化&フィードバック	有効化&フィードバック設定を開きます。 詳細情報については、4.3 アクティブ化&フィードバック、ページ 28 を参照してください。
	タスクバー&キーボード	タスクバー&キーボード設定を開きます。 詳細情報については、4.4 タスクバー&キーボード、ページ 29 を参照してください。
	ヘルプ&使用方法	ヘルプ&使用方法設定を開きます。 詳細情報については、4 Windows Controlの設定、ページ 22 を参照してください。

4.1 アイトラッカー



4.1.1 [キャリブレーション]タブ



キャリブレーションプロファイル：アクティブなプロファイルの名前を表示します。

新しいプロファイルの作成：新しいプロファイルを作成するには、このボタンを選択します。詳細情報については、**4.1.1.1 新しいプロファイルの作成、ページ 23**を参照してください。

プロファイルの管理：既存のプロファイルに**変更**を加えるには、このボタンを選択します。詳細情報については、**4.1.1.2 プロファイルの管理、ページ 24**を参照してください。

キャリブレーションのテスト：[キャリブレーションのテスト]ページを開くには、このボタンを選択します。詳細情報については、**4.1.1.3 キャリブレーションのテスト、ページ 24**を参照してください。

キャリブレーションタイプ：キャリブレーションには**2つの異なるタイプ**があります。**[正確]**または**[簡単]**。詳細情報については、**4.1.1.5 キャリブレーションタイプ、ページ 25**を参照してください。

目の追跡：デバイスによるユーザーの視線の追跡方法を選択します。**Both (両目)**、**Left (左目)**または**Right (右目)**。

4.1.1.1 新しいプロファイルの作成

1. 使用するキャリブレーションタイプを選択します。
詳細情報については、**4.1.1.5 キャリブレーションタイプ、ページ 25**を参照してください。
2. **[新しいプロファイルの作成]**ボタンを選択します。
3. 続行するには**[はい]**を、キャンセルするには**[いいえ]**を選択します。
4. 新しいプロファイルに名前を付けます。



キーボードとマウスを使用する必要があります。
英数字のみ使用できます。

5. **[次へ]**ボタンを選択します。
6. ユーザーの視線を表す**2つの点**が画面上のボックスの中央にくるようにユーザーを配置します。
ユーザーに対して正しい点が点滅すると、キャリブレーションが開始されます。
7. 画面上の指示に従い、キャリブレーションを**実行**します。
8. キャリブレーションをテストします。
詳細情報については、**4.1.1.3 キャリブレーションのテスト、ページ 24**を参照してください。

9. キャリブレーションを承認するには**【閉じる】**を、新しいキャリブレーションプロセスを**実行**するには**【再キャリブレーション】**を選択します。

4.1.1.2 プロファイルの管理

[プロファイルの管理]ページで、既存のプロファイルをアクティブ化または削除できます。
画面中央の**【アクティブプロファイル】**下にアクティブなプロファイルの名前が表示されます。

使用可能なすべてのプロファイルがページにボタンとして表示され、 と  ボタンを使用して使用可能なプロファイルをスクロールします。

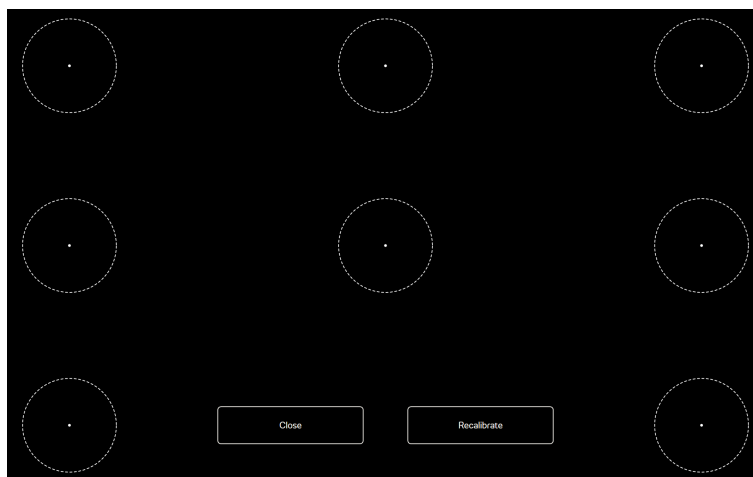
4.1.1.2.1 プロファイルのアクティブ化

1. アクティブ化するプロファイルの名前のボタンを選択します。
2. 画面の右上隅にある**【アクティブ化】**ボタンを選択します。
3. 選択したプロファイルをアクティブ化するには**【はい】**を、キャンセルするには**【いいえ】**を選択します。
4. ページを終了するには、**【閉じる】**を選択します。

4.1.1.2.2 プロファイルの削除

1. 削除するプロファイルの名前のボタンを選択します。
2. 画面の左上隅にある**【削除】**ボタンを選択します。
3. 選択したプロファイルを削除するには**【はい】**を、キャンセルするには**【いいえ】**を選択します。
4. ページを終了するには、**【閉じる】**を選択します。

4.1.1.3 キャリブレーションのテスト



[キャリブレーションのテスト]ページでは、キャリブレーションを画面上の**8**地点でテストして、ユーザーがアイトラッカーを再キャリブレーションする必要があるかどうかを**確認**できます。

1. 画面上の各円の各点を見て、その領域内のアイトラッキングの**正確さ**を**確認**します。
2. キャリブレーションを承認するには**【閉じる】**を、新しいキャリブレーションプロセスを**実行**するには**【再キャリブレーション】**を選択します。

4.1.1.4 再キャリブレーション

1. 使用するキャリブレーションタイプを選択します。
詳細情報については、**4.1.1.5** キャリブレーションタイプ、ページ **25** を参照してください。
2. アクティブプロファイルの新しいキャリブレーションプロセスを開始するには、**【再キャリブレーション】**ボタンを選択します。

3. 画面上の指示に従い、キャリブレーションを**実行**します。
4. キャリブレーションをテストします。**詳細情報**については、**4.1.1.3** キャリブレーションのテスト、ページ **24** を参照してください。
5. キャリブレーションを承認するには**【閉じる】**を、新しいキャリブレーションプロセスを**実行**するには**【再キャリブレーション】**を選択します。

4.1.1.5 キャリブレーションタイプ

2つの異なるキャリブレーションタイプが使用可能です。**【正確】**および**【簡単】**。

4.1.1.5.1 正確

最も**正確**なキャリブレーションタイプをアクティブ化するには、**【Accurate (正確)】**ボタンを選択します。

【正確】キャリブレーションタイプをアクティブ化すると、キャリブレーションプロセスは**7**ポイントになり、「ドットをポップする」キャリブレーションになります。**【正確】**キャリブレーションタイプがデフォルトのキャリブレーションタイプです。

4.1.1.5.2 簡単

容易なキャリブレーションタイプをアクティブ化するには、**【簡単】**ボックスを選択します。これを使用するのは、キャリブレーションが非常に**正確**に処理されることよりも、キャリブレーションが迅速かつ**簡単**に処理されるほうが重要な場合です。

【簡単】キャリブレーションタイプが**選択**された場合、キャリブレーションプロセスをカスタマイズすることができます。

【カスタマイズ】ボタンを選択し、キャリブレーション処理をカスタマイズします。



キャリブレーションポイント：**1**または**2**のどちらのキャリブレーションポイントを使用するか**選択**します。



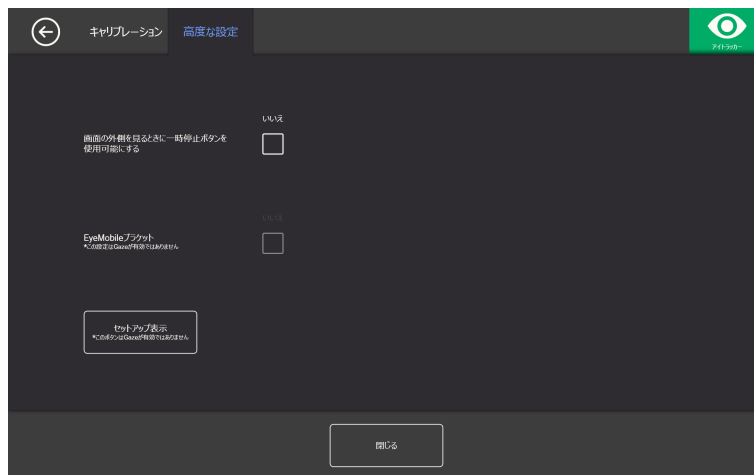
PCEye Goでは**1**ポイントキャリブレーションは使用できません。

ステップスルー：キーボードの「**S**」キーを使用する**機能**をアクティブ化するには、ステップスルーのオン/オフチェックボックスをオンに切り替えるか、または画面をタップ/クリックしてキャリブレーションをステップスルーします。

イメージ刺激：**【参照】**ボタンを**選択**すると、イメージ刺激をデフォルトの白い点から、付属の刺激の**1**つ、またはユーザーが好きなおもちゃのイメージなどに**変更**できます。

閉じる：ページを終了するには、**【閉じる】**ボタンを**選択**します。

4.1.2 [高度な設定] タブ

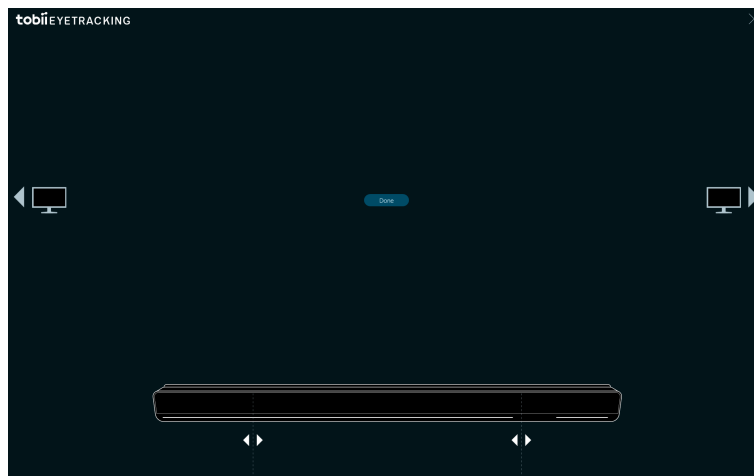


画面の外側を見るときに一時停止ボタンを使用可能にする：オン/オフチェックボックスをオンにすると、ユーザーが画面の外を見ると一時停止ボタンが画面に表示されるため、ユーザーは簡単にアイトラッキングを一時停止して再開できます。

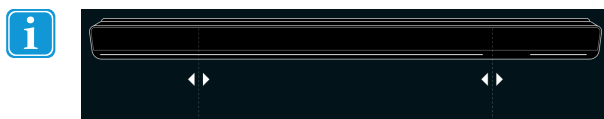
EyeMobile ブラケット：EyeMobileまたはEyeMobile Miniを使用している場合は、EyeMobileブラケットのオン/オフチェックボックスをオンに切り替えます。EyeMobileブラケットの設定はEyeMobile Plusには関係がないため無効になります。

4.1.2.1 ディスプレイのセットアップ

複数のディスプレイが使用される場合、アイトラッカーが接続するディスプレイを指定する必要があります。また、システムは使用されるディスプレイのサイズを認識する必要があります。



1.  または  を使用して、アイトラッカーが接続するディスプレイを選択します。
2. 使用しているアイトラッカーの上にあるマーキングで、画面上のアイトラッカーのビジュアル化の下にある左右の垂直線を合わせます。

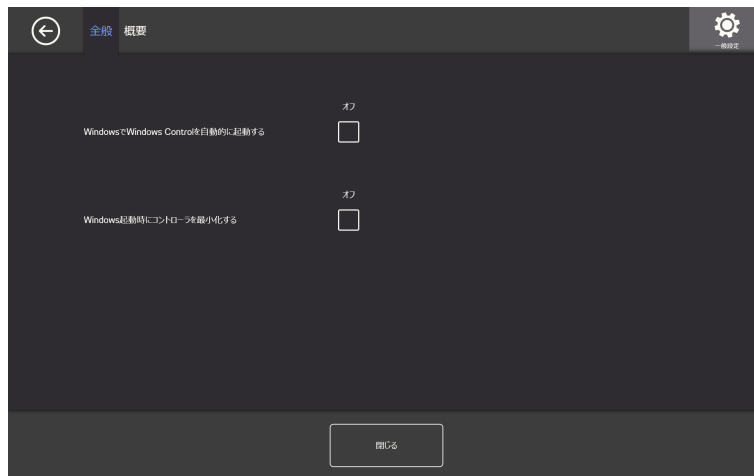


これにより、Windows Controlで使用される画面サイズが設定されます。

3. **Done** (完了) を選択し、終了します。

4.2 一般設定

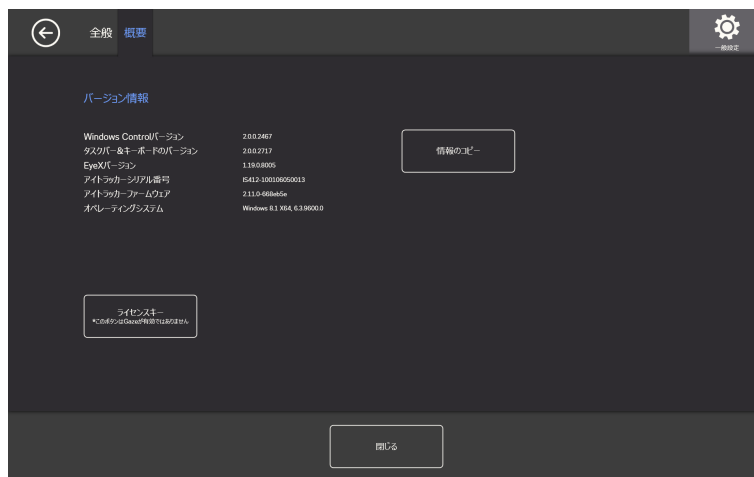
4.2.1 [一般]タブ



Windowsとともに自動的にWindows Controlを起動する：Windowsの起動時にWindows Controlも自動的に起動させるには、このオン/オフチェックボックスをオンに切り替えます。

Windows起動時にコントローラを最小化する：Windowsの起動時にWindows Controlコントローラを最小化するには、このオン/オフチェックボックスをオンに切り替えます。

4.2.2 [About (バージョン情報)]タブ



[バージョン情報]ページには、ソフトウェアおよびアイトラッカーハードウェアのすべてのバージョン情報が表示されます。この情報は、**[情報をコピー]**ボタンを選択することで簡単にコピーでき、必要に応じてメールまたはその他のソフトウェアに貼り付けることができます。

4.2.2.1 ライセンスキー



ライセンスボタンは注視対応ではないため、ライセンスを**変更**する必要がある場合はどなたかにサポートを依頼してください。

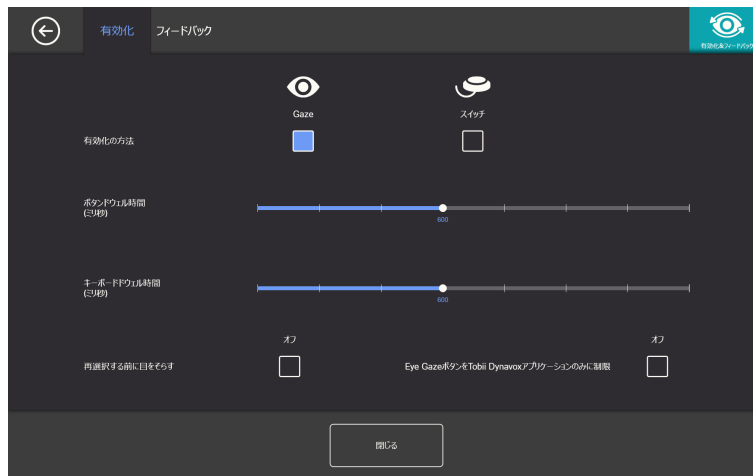
ライセンスをアクティブ化する場合は、**2.2.1 ライセンスのアクティブ化**、ページ 6を参照してください。

ライセンスを無効にする場合は、**2.2.2 ライセンスの無効化**、ページ 7を参照してください。

4.3 アクティブ化&フィードバック



4.3.1 [アクティブ化] タブ



[アクティブ化]タブでは、ユーザーとWindows Controlのインタラクション方法に関するすべての設定が行われます。ユーザーが注視またはスイッチを使用してコマンドを実行する場合、インタラクションの動作方法は次のようになります。

アクティブ化方法：

- 注視 - 注視を選択し、視線の位置で希望タスクの実行で終了するズーム機能をオンにします。
- スイッチ - スイッチを選択し、スイッチを使って希望タスクの実行で終了するズーム機能をオンにします。

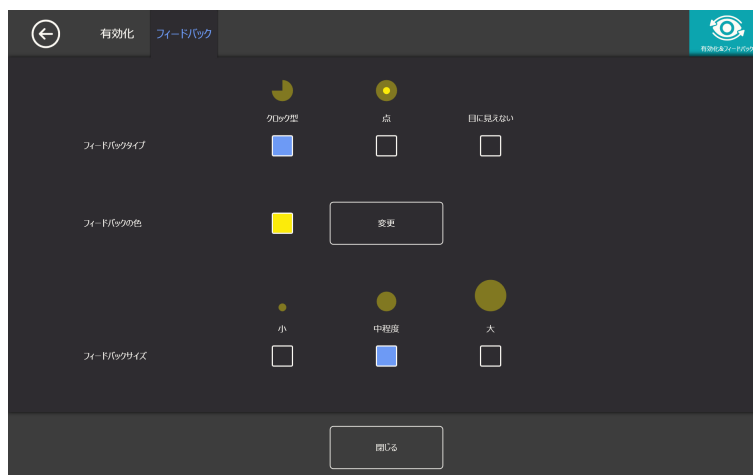
ボタン停留時間 (ミリ秒)

ボタン停留時間は、8つのレベルに設定することができます。設定を変更するには、希望の位置を見つめてください。ボタン停留時間を変更するには、タスクを実行する前に、ユーザーが注視する長さをボタンで調整します。ボタン停留時間の調整ボタンは、左へ動かすとスピードが遅くなり、右へ動かすと速くなります。

キーボード停留時間 (ミリ秒)

キーボード停留時間は、8つのレベルに設定することができます。設定を変更するには、希望の位置を見つめてください。キーボード停留時間を変更するには、キーを実行する前に、ユーザーが注視する長さをキーボードボタンで調整します。キーボード停留時間の調整ボタンは、左へ動かすとスピードが遅くなり、右へ動かすと速くなります。

4.3.2 [フィードバック] タブ



フィードバックタイプ:

- **Clock** (クロック) - 視覚フィードバックは、指定されたボタン停留時間を満たすクロックです。クロックが完全に満たされると、タスクが実行されます。
- **Dot** (ドット) - 視覚フィードバックは、タスク実行時、注視ユーザーの場合は縮小ドット、スイッチユーザーの場合は静的ドットです。
- **Invisible** (非表示) - タスクの実行時に画面には視覚フィードバックが表示されません。

フィードバックの色: フィードバックの色を選択するには、**[変更]**ボタンを選択します。使用可能な色については、**図 4.1** 使用可能な色、ページ 29 を参照してください。

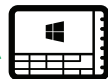


図 4.1 使用可能な色

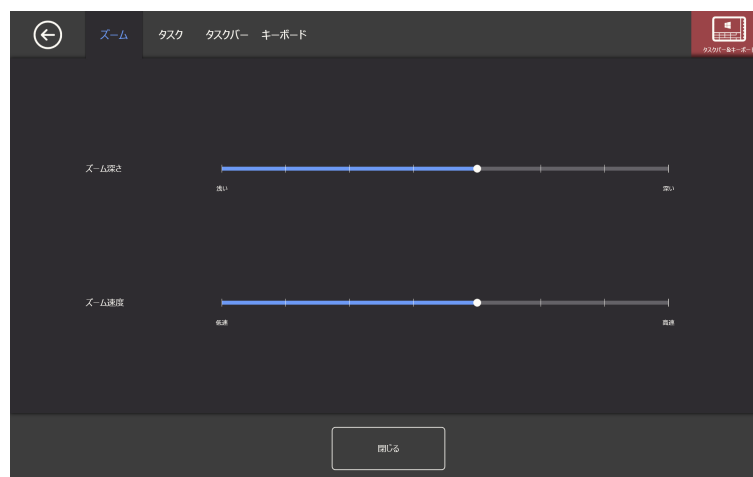
フィードバックサイズ: 選択されたフィードバックタイプのフィードバックサイズは、3つの異なる値に設定することができます。

- 小
- 中
- 大

4.4 タスクバー&キーボード



4.4.1 [ズーム] タブ



ズーム深さ

ズーム深さは8つのレベルに設定することができます。設定を変更するには希望の位置を見つめてください。深さを変更すると、タスクの実行前のズームの度合いが調整されます。スケールの右に行くほど、ズームが拡大されます。

 深さがゼロに設定されている場合は、ズームされません。一次**選択**では短いクリックです。二次**選択**ではズームのままになります。

ズーム速度

ズームスピードは8つのレベルに設定することができます。設定を**変更**するには希望の位置を**見**つけてください。スピードを**変更**すると、タスクの**実行前**のズームスピードに影響があります。スケールの右に行くほど、ズームのスピードが速くなります。

4.4.2 [タスク] タブ



タスクバーに使用するタスクを**選択**します。タスクについてのより**詳しい情報**は、**3.4 タスク**、ページ **12** をご覧ください。

 より小型の画面では、タスクバーで使用するタスクの数が多いほど、**選択が困難**になる場合があることにご注意ください。

タスクをタスクバーでできるようにするには、各タスクのオン/オフのチェックボックスをオンにします。

タスクバーでのタスクの使用と表示を**無効**にするには、各タスクのオン/オフのチェックボックスをオフにします。

4.4.2.1 追加タスクの表示

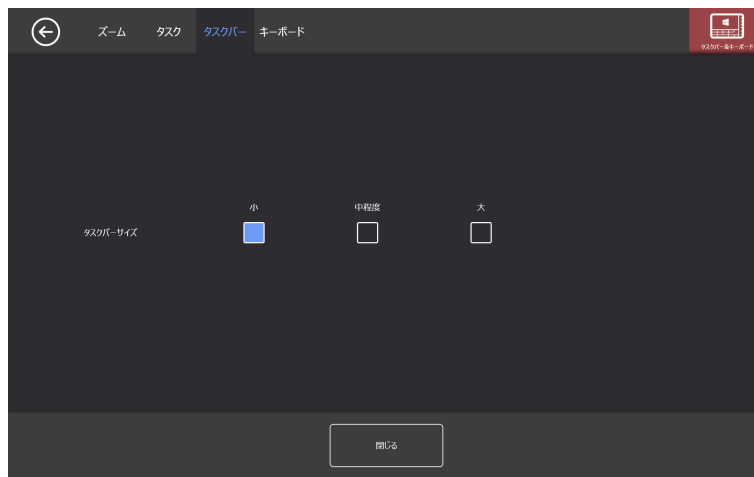
オフに切り替えると、追加タスクは使用できなくなります。オンに切り替えると、追加タスクが使用できるようになります。**詳細情報**については、**3.5 追加タスク**、ページ **13** を参照してください。

4.4.2.2 左クリックの最大化

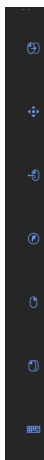
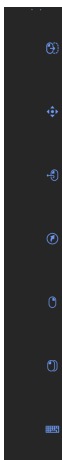
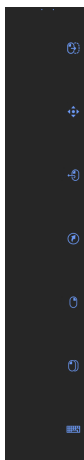
左クリックの最大化を有効にすると、タスクバー内の左クリックタスクのアクティブな**領域**が大幅に**拡大**します。これにより、左クリックタスクの**選択**が大幅に容易になります。

タスクバーの左クリックのタスクを**拡大**して**強調表示**するには、最大化の左クリックを使用します。これがオフ状態になっている場合は、**選択**されたすべてのタスクは、タスクバー上に均等に配置されます。オン状態になっている場合は、左クリック以外のすべてのタスクは元の/より小さいサイズのままになり、左クリックのタスクは、タスクバーの残りの**領域**を占めます。

4.4.3 [タスクバー]タブ

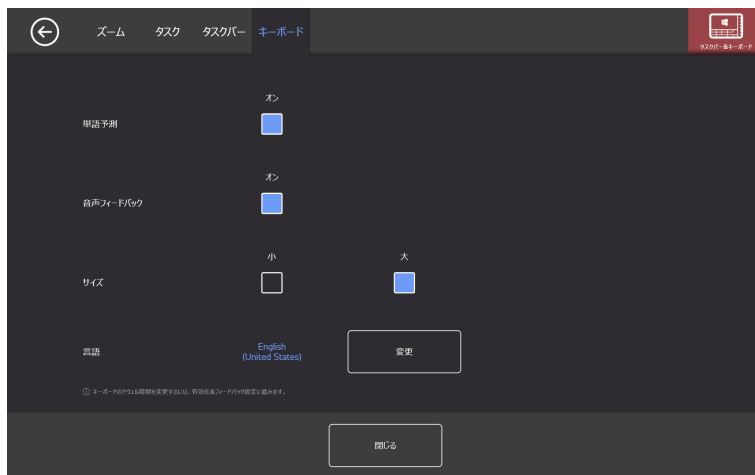


[タスクバー]タブで、タスクバーのサイズを次の3つのサイズに変更できます。

小	中	大
		

タスクバーのサイズを大きくすると、タスク周辺のアクティブな領域が拡大され、ユーザーのタスクをより簡単に選択できるようになります。実際のアクティブな領域は画面の外に広がり、タスクのアイコンは常にアクティブな領域の中央に表示されます。

4.4.4 [キーボード]タブ



単語予測

- オン - Gaze Keyboardを使用しているときに、単語予測をアクティブ化するには、オンを選択します。(既定)
- オフ - Gaze Keyboardを使用しているときに、単語予測を非アクティブ化するには、オフを選択します。

サウンドフィードバック

- オン - Gaze Keyboard上でボタンを選択する際にサウンドフィードバックをアクティブ化するには、オンを選択します。
- オフ - Gaze Keyboard上のボタンを選択する際にサウンドフィードバックを非アクティブ化するにはオフを選択します。

サイズ

- 小 - 小さいサイズのGaze keyboardを使用するには、小を選択します。画面の半分未満のサイズです。図 4.2 小さいキーボードレイアウト (既定)、ページ 32を参照してください。
- 大 - 大きいサイズのGaze keyboardを使用するには、大を選択します。画面の半分のサイズです。図 4.3 大きいキーボードレイアウト、ページ 33を参照してください。

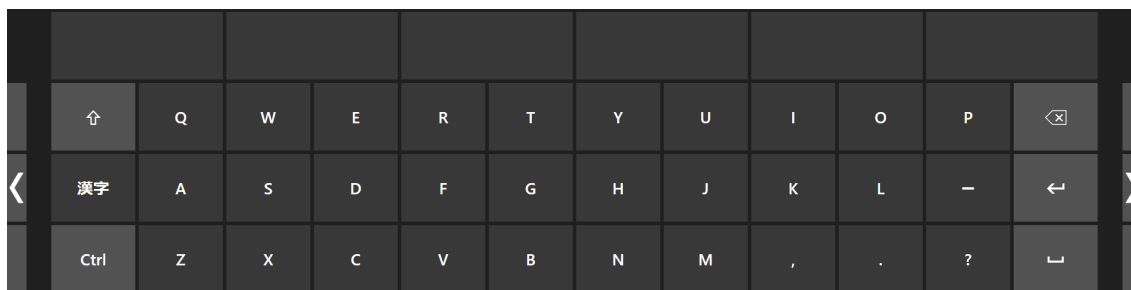


図 4.2 小さいキーボードレイアウト (既定)



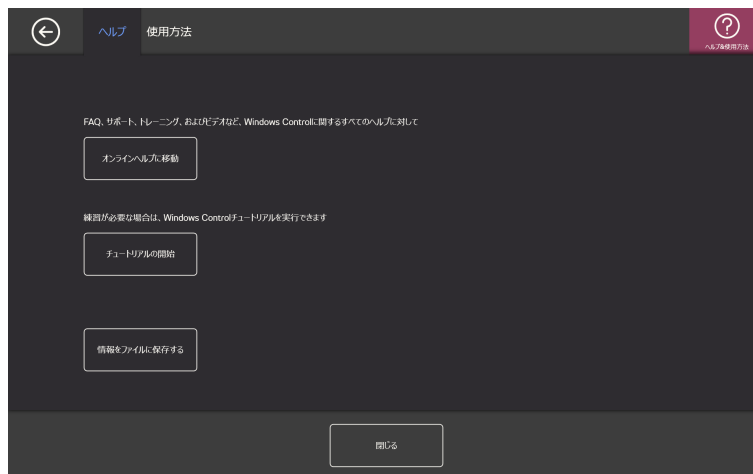
図 4.3 大きいキーボードレイアウト

言語

選択した言語のキーボードレイアウトが表示されます。別の言語のキーボードレイアウトに変更するには、変更ボタンを選択します。さまざまな言語のキーボードレイアウトを利用することができます。

4.5 ヘルプと使用方法

4.5.1 [ヘルプ]タブ



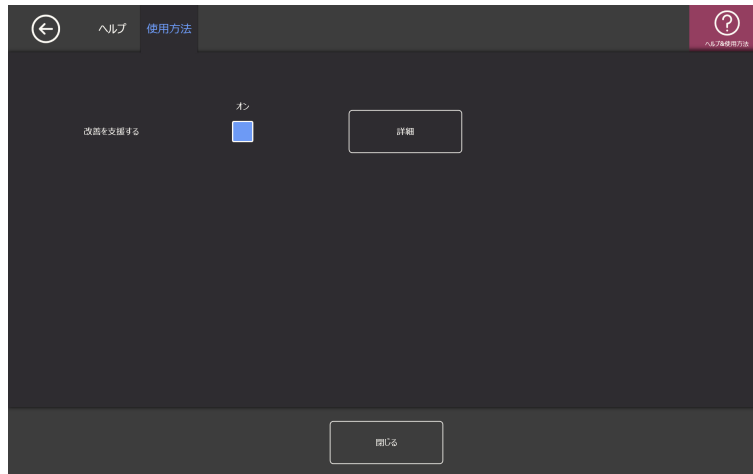
【オンラインヘルプに移動】ボタンを選択すると、デフォルトのWebブラウザでインターネット上のTobii Dynavox製品サポートページを開くことができます。このサポートWebページで、ユーザーはFAQ、サポート、トレーニング、ビデオ、Windows Controlに関するドキュメント、およびTobii Dynavoxの他のすべての製品を見ることができます。



コンピュータ/デバイスがインターネットに接続されていることを確認します。

ユーザーがさらなる練習を必要とする場合は、【チュートリアルの開始】ボタンを選択すると、付属のチュートリアルを実行できます。このチュートリアルは、ユーザーが希望すれば何回でも開始できます。

4.5.2 [使用] タブ



改善を支援する：Tobii Dynavox がソフトウェアを改善できるようにオン/オフチェックボックスを オン に切り替えます。More info (詳細情報) ボタンを選択し、すべての関連情報が記載されたページを開きます。詳細情報については、[図 4.4 データ収集](#)、ページ 34 を参照してください。

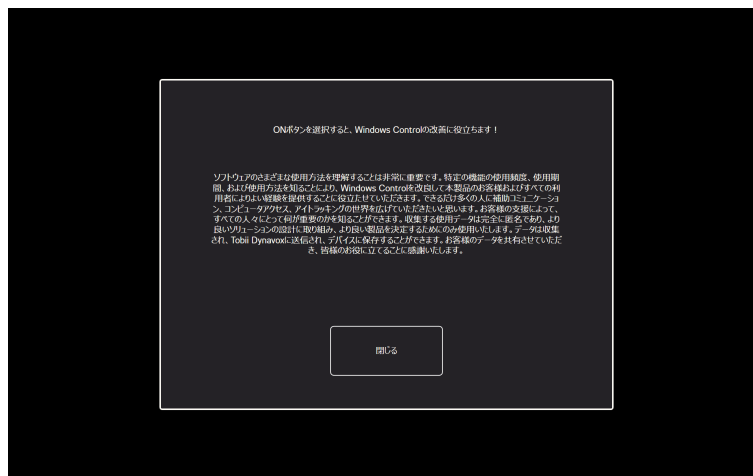


図 4.4 データ収集

5 Virtual Remote

5.1 Virtual Remote 概要



図 5.1 Virtual Remote の概要

Virtual Remote は2つの領域に分かれています。

- Virtual Remote メニューの詳細は [5.1.1 Virtual Remote メニュー](#)、ページ 35 を参照してください。
- 有効なリモコンの詳細は [5.1.2 有効なリモコン](#)、ページ 36 を参照してください。

5.1.1 Virtual Remote メニュー



図 5.2 Virtual Remote メニュー

Virtual Remote メニューのアイコンは次のとおりです。

タスクボタン	アクション	説明
+	リモコンの追加	新しいリモコンを追加するにはこのアクションを選択します。 5.2.4 リモコンを追加 、ページ 38 を参照してください。
i	情報	情報ページを開くにはこのアクションを選択します。 5.2.6 情報 、ページ 54 を参照してください。
<	左	有効なリモコンの左側にあるリモコンを有効にするには、このアクションを選択します。
>	右	有効なリモコンの右側にあるリモコンを有効にするには、このアクションを選択します。
edit icon	編集モード	有効なリモコンの編集モードに移動するにはこのアクションを選択します。 5.2.5 編集モード 、ページ 45 を参照してください。
X	閉じる / 最小化	Virtual Remoteのアプリケーションを最小化するには、このアクションを選択します。

5.1.2 有効なリモコン

有効なリモコンは常に **Virtual Remote** メニューの中央にあるリモコンです。図 5.3 有効なリモコン を参照してください。

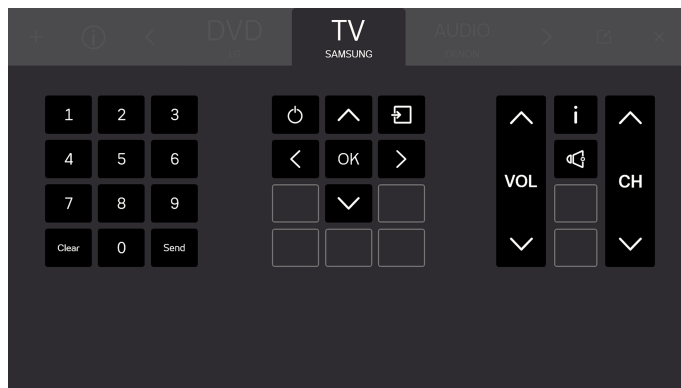


図 5.3 有効なリモコン



画面上に見えるボタンはすべて、有効なリモコンのもので

有効なリモコンの両側に1つずつ、最大2つの利用可能なリモコンの名前を表示することもできます。リモコンを有効にするまでは、利用可能なリモコンのボタンは表示されず、名前のみが表示されます。

5.1.3 ボタン

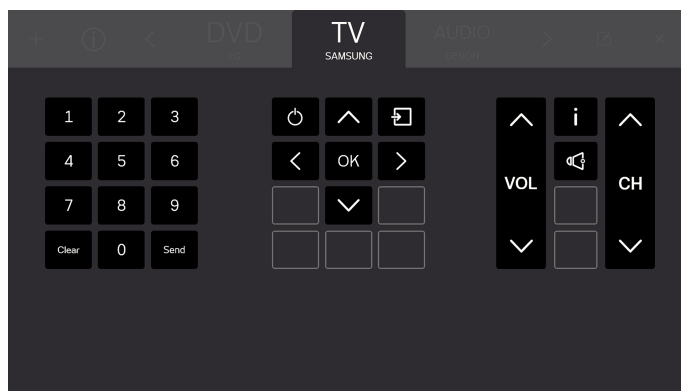


図 5.4 ボタン

画面上に見えるボタンはすべて、有効なリモコンのもので

- 有効なボタン 。図 5.5 有効なボタン、ページ 37 を参照してください。
- 無効なボタン 。図 5.6 無効なボタン、ページ 37 を参照してください。



ボタンの数と機能は、ユーザーが制御したいと思うシステムの種類によって異なります。

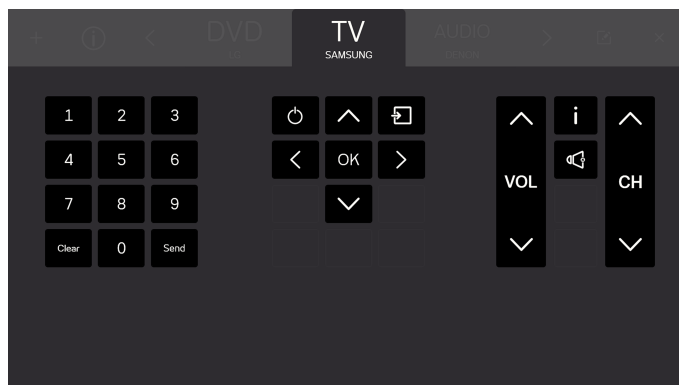


図 5.5 有効なボタン

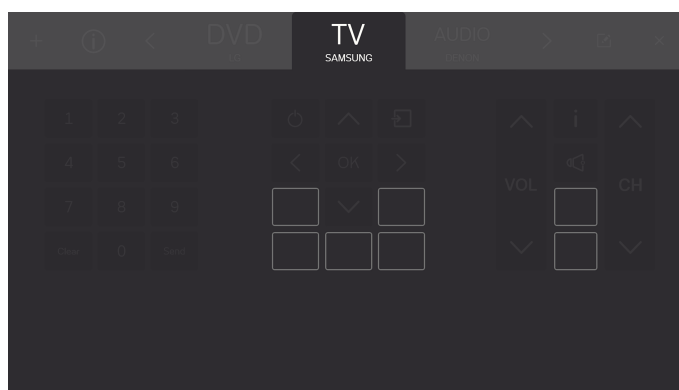


図 5.6 無効なボタン

5.2 Tobii Dynavox Virtual Remote の使用

Tobii Dynavox Virtual Remote によりテレビ、DVD、オーディオなどのシステムをデバイスから制御できます。



Virtual Remote のすべての機能に対してタッチとマウスが有効になっているため、ユーザーは、必要に応じて簡単に介護者や介助者の方の手を借りることができます。

5.2.1 初回起動時

簡単な手引書で Virtual Remote ソフトウェアのレイアウトを紹介しています。画面の指示に従うだけです。



図 5.7 Virtual Remote 導入画面

5.2.2 有効なリモコンを変更する

有効なリモコンを変更するには：

- 有効なリモコンの右側または左側のリモコン名を選択します。
- または、 ボタンと  ボタンを使って、利用可能なリモコンにスクロールします。



有効なリモコンは常に Virtual Remote メニューの中央にあるリモコンです。

5.2.3 リモコン上のボタンを使う

使用したいボタンを選択するだけでデバイスに信号を送信することができます。音量ボタンは通常、ボタンが選択されている間に連続して信号を送信するよう設定されています。詳細情報については、5.2.5.3.1 信号の長さ、ページ 49 を参照してください。

9より大きな数字（例えば、複数桁）を入力するには、この手順に従います。

9より大きな数字のステップリスト

- すべての送信する数字を、送信する順序で選択します。
選択したすべての数字は、リモコンの数字セクション下の白いボックスに表示されます。



- Send**（送る）ボタンを選択してデバイスに信号を送信するか、**Clear**（クリア）を選択して選択した数字をすべて削除します。

5.2.4 リモコンを追加



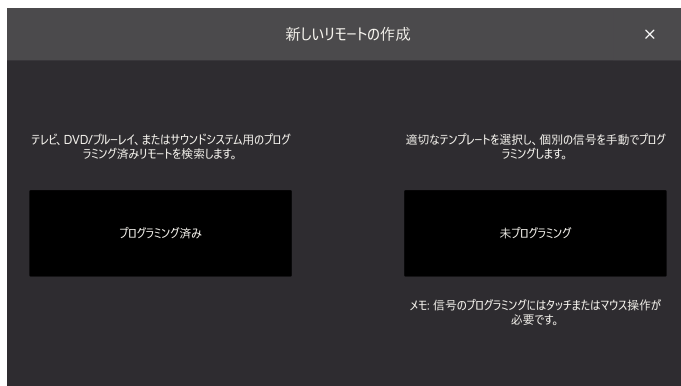
新しいリモコンを追加するには2つの方法があります。

5.2.4.1 事前にプログラムしたリモコンを追加

事前にプログラムしたリモコンを追加するには、この手順に従います。

事前にプログラムしたリモコンの追加のステップリスト

1. メニューから **+** を選択します。
2. 事前にプログラムしたボタンを選択します。



3. 事前にプログラムしたリモコンの種類を選択します。

- テレビ
- DVD / ブルーレイ
- 音声



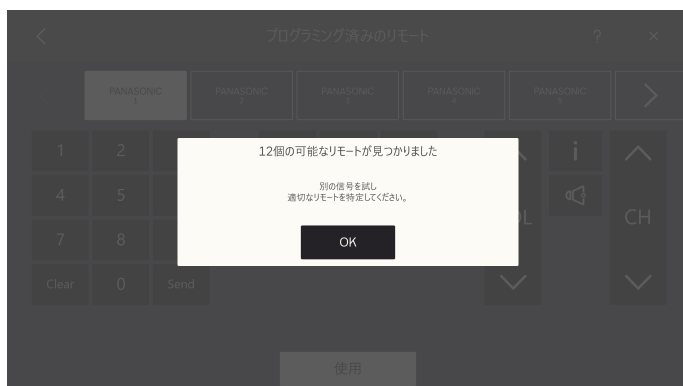
4. リストからブランドを選択します。



ブランド名が見つからない場合は、**Other** (その他) を選択します。詳細は 5.2.4.1.1 他のリモコン、ページ 41 を参照してください。



5. ブランド名を**選択**すると、使用可能な事前にプログラムされたリモコンの数に**関する情報**がポップアップ表示されます。

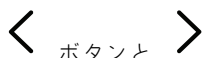


OK ボタンを**選択**します。

6. リモコンを**選択**します。



7. **選択**したリモコンでさまざまな信号を**試**して、**適**切なりモコンを特定します。
8. **最**適なりモコンが特定できるまで、ステップ6とステップ7を**繰**り返します。



ボタンと ボタンを使って、利用可能なリモコンにスクロールします。

9. **最**適なりモコンを**選**択します。
10. **Use (使用)** ボタンを**選**択します。



11. 選択したリモコンが利用可能なリモコンにコピーされます。



Go to Remote (リモコンに移動) ボタンを選択して、終了します。

5.2.4.1.1 他のリモコン

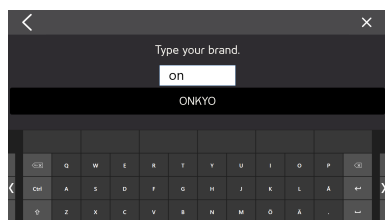
他のリモコンを追加するには、この手順に従います。

他のリモコンの追加のステップリスト

1. ステップリストのステップ1～3に従います。事前にプログラムしたリモコンの追加のステップリスト、ページ39.
2. **Other** (その他) ボタン
3. テキストボックスにブランド名を入力します。



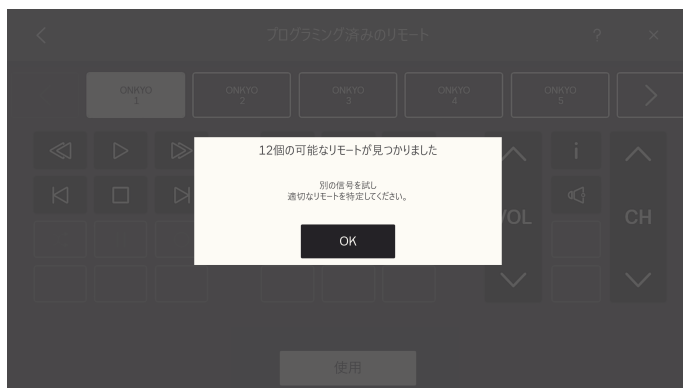
検索結果を絞り込むには、さらに文字を入力します。



4. ブランド名を**選択**します。



5. ブランド名を**選択**すると、使用可能な事前にプログラムされたりモコンの数に**関する情報**がポップアップ表示されます。

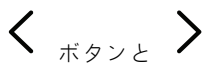


OK ボタンを**選択**します。

6. リモコンを**選択**します。



7. **選択**したリモコンでさまざまな信号を**試**して、**適**切なりモコンを特定します。
8. **最**適なりモコンが特定できるまで、**ステップ6**と**ステップ7**を**繰**り返します。



ボタンと ボタンを使って、利用可能なリモコンにスクロールします。

9. **最**適なりモコンを**選**択します。

10. **Use (使用)** ボタンを**選択**します。



11. **選択**したリモコンが利用可能なリモコンに**コピー**されます。



Go to Remote (リモコンに移動) ボタンを**選択**して、**終了**します。

5.2.4.2 事前にプログラムされていないリモコンを追加

事前にプログラムされていないリモコンを追加するには、この手順に従います。

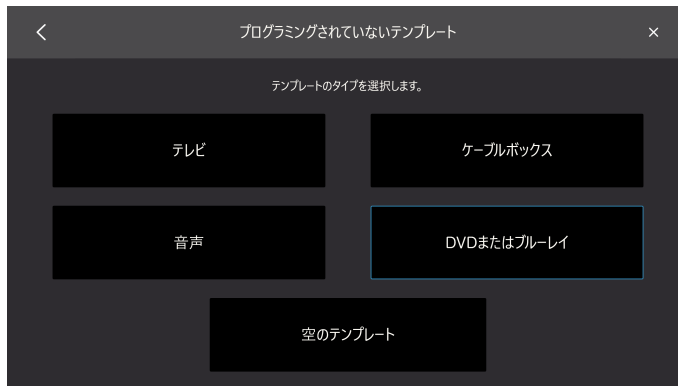
事前にプログラムされていないリモコンの追加のステップリスト

1. メニューから **+** を**選択**します。
2. 事前にプログラムされていないボタンを**選択**します。



3. 事前にプログラムされていないリモコンの**種類**を**選択**します。
 - テレビ
 - 音声

- ケーブルボックス
- DVDまたはブルーレイ
- 空白のテンプレート



4. プログラムするボタンを選択します。



利用可能なアイコンは、ステップ3で選択したリモコンの種類によって異なります。

5. プログラムするボタンを選択します。
6. リモコンを Tobii Dynavox 赤外線レシーバーに向け、Virtual Remoteに学習させたいリモコン上の希望のボタンを押します。



7. 信号がVirtual Remoteに保存されると、**Done** (完了) ポップアップが表示されます。



 ポップアップは数秒後に自動的に閉じます。

8. リモコン上の必要なボタンをすべてプログラムするまで、ステップ5~7を繰り返します。

 リモコン上のボタンを変更または削除するには、プログラミングを終了し、編集モードに移動する必要があります。編集モードについてのより詳しい情報は、5.2.5 編集モード、ページ 45 をご覧ください。

9. **Done** (完了) を選択し、終了します。



5.2.5 編集モード



編集モードで既存のリモコンを変更することができます。編集するリモコンが有効なリモコンであることを確認します。編集モードに入るには、この手順に従います。

編集モードのステップリスト

1.  (Edit mode) (編集モード) ボタンを選択します。



2. 変更するリモコンのセクションを選択します。次の変更が可能です。
 - リモコン名の変更。5.2.5.1 リモコン名の変更、ページ 46 を参照してください。
 - リモコンの削除。5.2.5.2 リモコンの削除、ページ 47 を参照してください。
 - 既存の有効なボタンを変更。5.2.5.3 既存の有効なボタンの変更 を参照してください。
 - 既存のプログラムされていないボタンを変更。5.2.5.4 既存のプログラムされていないボタンを変更、ページ 51 を参照してください。
 - 空のスペースに新しいボタンを追加。5.2.5.5 空のスペースに新しいボタンを追加、ページ 53 を参照してください。

5.2.5.1 リモコン名の変更

リモコン名を変更するには、この手順に従います。

リモコン名の変更

1.  (Edit mode) (編集モード) ボタンを選択します。



2. リモコン名の近くの「Select here to edit (ここを選択して編集)」ボックスを選択します。

3. **Relabel** (ラベル変更) ボタンを選択します。



4. 新しいラベルを入力します。



短い名前を使用してください。



5. キーボードの **Enter** キーを押し、ラベル変更を終了します。



6. アイコンを選択し、編集モードを終了します。

5.2.5.2 リモコンの削除

リモコンを削除するには、この手順に従います。

リモコンの削除のステップリスト



1. (Edit mode) (編集モード) ボタンを選択します。



2. リモコン名の近くの「Select here to edit (ここを選択して編集)」ボックスを選択します。
3. **Delete** (削除) ボタンを選択します。



4. 以下を選択します。
 - 削除する場合は**Yes**
 - キャンセルする場合は**No**



5. ✕ アイコンを選択し、編集モードを終了します。

5.2.5.3 既存の有効なボタンの変更

既存の有効なボタンを変更するには、この手順に従います。

既存の有効なボタンの変更のステップリスト

1.  (Edit mode) (編集モード) ボタンを選択します。



2. リモコンボタンの近くの「Select a button the edit (ボタンを選択して編集)」ボックスの中の、黒の背景にアイ

コンまたはテキストが表示された (例えば ) のボタンを選択します。

3. 次のアクションから1つを選択します。

- 信号の長さ。5.2.5.3.1 信号の長さ を参照してください。
- 新しい信号。5.2.5.3.2 新しい信号、ページ 49 を参照してください。
- テキストの変更。5.2.5.3.3 テキストの変更、ページ 50 を参照してください。
- アイコンの変更。5.2.5.3.4 アイコンの変更、ページ 51 を参照してください。
- Clear Button (ボタンの消去) でボタンに保存されているすべての情報が消去されます。



4.  アイコンを選択し、編集モードを終了します。

5.2.5.3.1 信号の長さ

受信ユニットが Virtual Remote から送られた信号を理解するには、信号の長さの変更が必要になる場合があります。ボタンを選択している間、ボタンが信号を連続的に送るようにしたい場合は、信号の長さも設定する必要があります。

次の選択肢から1つ選択します。

- 通常 - 短いバーストで赤外線信号を送信
- 長い - 1秒間の赤外線信号を送信
- 特に長い - 2秒間の赤外線信号を送信
- 連続 - ボタンが選択されている間に信号を送信



これは音量ボタンの一般的な設定です。



5.2.5.3.2 新しい信号

新しい信号をボタンにプログラムするには、この手順に従います。

新しい信号のステップリスト

1. リモコンを Tobii Dynavox 赤外線レシーバーに向け、Virtual Remoteに学習させたいリモコン上の希望のボタンを押します。



2. 信号がVirtual Remoteに保存されると、**Done (完了)** ポップアップが表示されます。



ポップアップは数秒後に自動的に閉じます。

5.2.5.3.3 テキストの変更

テキストを変更するには、この手順に従います。

テキスト変更のステップリスト

1. ボタン上に表示させるテキストを入力します。



2. キーボードのEnter / Returnキーを押し、テキスト入力を完了します。

5.2.5.3.4 アイコンの変更

アイコンを変更するには、この手順に従います。

1. 利用可能なアイコンを選択します。



2. **Save** (保存) ボタンを選択し、アイコン変更を終了します。

5.2.5.4 既存のプログラムされていないボタンを変更

既存のプログラムされていないボタンを変更するには、この手順に従います。

既存のプログラムされていないボタン変更のステップリスト

1.  (Edit mode) (編集モード) ボタンを選択します。



2. リモコンボタンの近くの「Select a button the edit (ボタンを選択して編集) 」ボックスの中の、グレイ背景にアイコンまたはテキストが表示された (例えば ) のボタンを選択します。
3. 次のアクションから1つを選択します。
 - プログラム。5.2.5.4.1 プログラム、ページ 52 を参照してください。
 - テキストの変更。5.2.5.3.3 テキストの変更、ページ 50 を参照してください。
 - アイコンの変更。5.2.5.3.4 アイコンの変更、ページ 51 を参照してください。

- Clear Button (ボタンの消去) でボタンに保存されているすべての情報が消去されます。



4. ✕ アイコンを選択し、編集モードを終了します。

5.2.5.4.1 プログラム

信号をボタンにプログラムするには、この手順に従います。

プログラムのステップリスト

1. リモコンを Tobii Dynavox 赤外線レーザーに向け、Virtual Remoteに学習させたいリモコン上の希望のボタンを押します。



2. 信号がVirtual Remoteに保存されると、**Done** (完了) ポップアップが表示されます。



ポップアップは数秒後に自動的に閉じます。

5.2.5.5 空のスペースに新しいボタンを追加

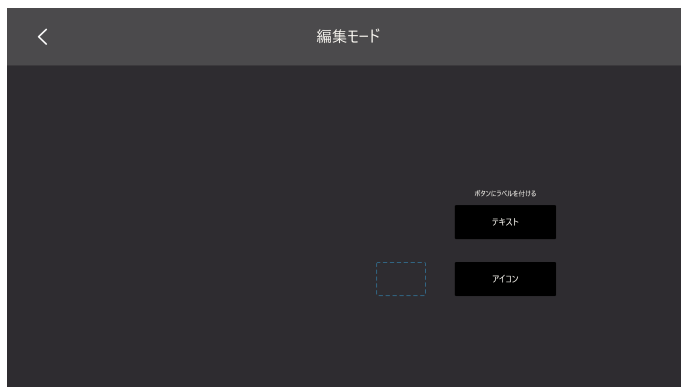
空のスペースに新しいボタンを追加するには、この手順に従います。

空のスペースに新しいボタン追加のステップリスト

1.  (Edit mode) (編集モード) ボタンを選択します。



2. リモコンボタンの近くの「Select a button the edit (ボタンを選択して編集) 」ボックスの中の、グレイ背景で空白 (例えば ) のボタンを選択します。
3. 次のアクションから1つを選択します。
 - テキストの変更。5.2.5.3.3 テキストの変更、ページ 50 を参照してください。
 - アイコンの変更。5.2.5.3.4 アイコンの変更、ページ 51 を参照してください。



4.  アイコンを選択し、編集モードを終了します。

5.2.6

情報



情報ページには、ハードウェアとさまざまなソフトウェアのバージョン情報がすべて表示されます。



改善を支援する：Tobii Dynavox がソフトウェアを改善できるように、On / Offチェックボックスを **On** に切り替えます。
More info (詳細情報) ボタンを選択し、すべての関連情報が記載されたページを開きます。詳細情報については、図 5.8
データ収集、ページ 54 を参照してください。



図 5.8 データ収集

チュートリアル： **Launch** ボタンを選択しても Virtual Remote チュートリアルを起動することができます。



Copyright © Tobii AB (publ).図および仕様は、各地域の市場で提供される製品およびサービスに必ずしも該当する訳ではありません。技術仕様は予告なしに変更されることがあります。その他のすべての商標は各所有者に属します。

Tobii Dynavox デバイスのサポート

オンラインヘルプの利用

お使いの Tobii Dynavox デバイスの個別製品サポートページをご覧ください。問題に関する最新情報や、その製品に関連するヒントやアイデアが記載されています。オンラインのサポートページの www.TobiiDynavox.com または www.myTobiiDynavox.com をご覧ください。

営業担当者または販売代理店にお問い合わせください。

お使いの製品について質問がある場合や支障が生じた場合は、最寄りの Tobii Dynavox の営業担当者または認定販売代理店までお問い合わせください。お客様個人の設定に詳しい担当者があり、ヒントを提案したり製品に関するトレーニングを提供することができます。詳細については、www.TobiiDynavox.com/contact をご覧ください。